

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月10日 (2008.7.10)

【公表番号】特表2003-533489(P2003-533489A)

【公表日】平成15年11月11日 (2003.11.11)

【出願番号】特願2001-583799(P2001-583799)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/102 (2006.01)

A 6 1 K 39/104 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/00 K

A 6 1 K 39/102

A 6 1 K 39/104

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月21日 (2008.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 粘膜表面で感染を起こす能力のある少なくとも 1 つの微生物の 1 つ以上の抗原および少なくとも 1 つの共生生物 (probiotic) のアジュバントを含む粘膜投与可能な組成物であって、アジュバントが Th1 細胞免疫応答を誘導する能力のあるものである上記組成物。

【請求項 2】 抗原が細菌、カビ、またはウィルス由来である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】 抗原が完全体の (whole) 微生物である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】 完全体の微生物が死滅した微生物である、請求項 3 記載の組成物。

【請求項 5】 微生物が生きた微生物または弱毒化した生きた微生物である、請求項 3 記載の組成物。

【請求項 6】 抗原が 1 つ以上の微生物のホモジネートまたは音波処理物である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 7】 少なくとも 1 つの微生物が呼吸器管細菌性および / もしくは真菌性病原体、または通常呼吸器管にコロニーを形成し、呼吸管に粘膜感染を起こす可能性のある

微生物である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 8】 微生物が型別不能型インフルエンザ菌 (*Haemophilus influenzae*, NT HI)、緑膿菌 (*Pseudomonas aeruginosa*)、肺炎球菌 (*Streptococcus pneumoniae*)、白色ブドウ球菌 (*Staphylococcus albus*)、および黄色ブドウ球菌 (*Staphylococcus aureus*)、またはそれらのいずれかの組み合わせからなる群から選択される、請求項 7 記載の組成物。

【請求項 9】 共生生物が 1 以上の共生生物細菌からなる、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 10】 共生生物細菌が乳酸菌およびビフィドバクテリア、またはそれらの組み合わせから選択される、請求項 9 記載の組成物。

【請求項 11】 共生生物細菌が好酸性乳酸桿菌 (*Lactobacillus acidophilus*)、発酵乳酸桿菌 (*Lactobacillus fermentum*)、またはそれらの組み合わせから選択される、請求項 10 記載の組成物。

【請求項 12】 アジュバントが、Th1細胞免疫応答を誘導することができる共生生物細菌によって提供される、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 13】 少なくとも 1 つの共生生物のアジュバントが生きた共生生物細菌である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 14】 組成物が経口投与可能な組成物である、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 15】 1 つ以上の薬剂的に許容されるキャリアー、アジュバント、溶媒、または添加剤を更に含有する、請求項 14 記載の組成物。

【請求項 16】 食品または食品サプリメントである、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 17】 請求項 1 記載に組成物を含有するワクチン。

【請求項 18】 粘膜表面で感染を起こす能力のある少なくとも 1 つの微生物の 1 つ以上の抗原および少なくとも 1 つの共生生物のアジュバントの、粘膜感染の治療または予防処置のための医薬の製造における使用であって、アジュバントがTh1細胞免疫応答を誘導する能力のあるものである上記使用。

【請求項 19】 粘膜表面で感染を起こす能力のある少なくとも 1 つの微生物の 1 つ以上の抗原の、少なくとも 1 つの共生生物のアジュバントと組合わせた粘膜感染の治療または予防処置のための医薬の製造における使用であって、アジュバントがTh1細胞免疫応答を誘導する能力のあるものである上記使用。